

## 10大費目指数の動き

各費目の動きを前年比でみると、食料は穀類の値上がりなどにより3.9%の上昇、住居は家賃の値上がりなどにより0.8%の上昇、光熱・水道は灯油の値上がりなどにより3.6%の上昇、被服及び履物は衣料の値上がりなどにより0.4%の上昇、交通・通信はガソリン代の値上がりなどにより1.9%の上昇、教育は授業料等の値上がりなどにより0.3%の上昇となった。

一方、家具・家事用品は家庭用耐久財の値下がりなどにより2.0%の下落、教養娯楽は教養娯楽用耐久財の値下がりなどにより1.6%の下落、諸雑費は理美容用品の値下がりなどにより0.2%の下落となった。

なお、保健医療は前年と同水準となった。

平成17年=100

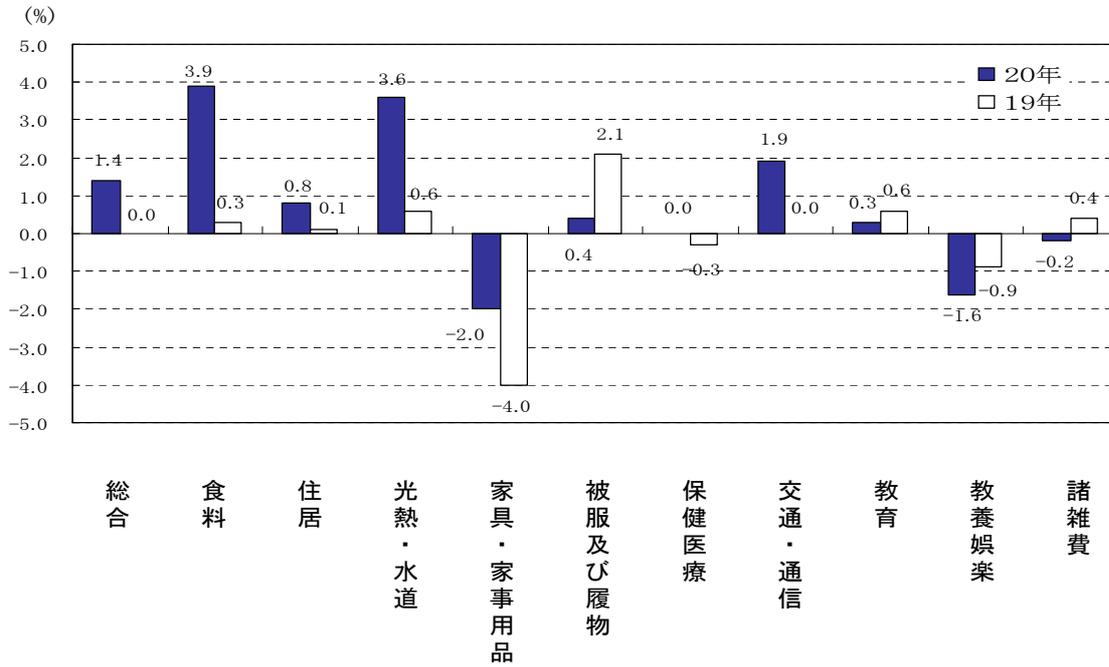
	指 数		前年比(%)		寄 与 度	
	20年	19年	20年	19年	20年	19年
総 合	101.7	100.3	1.4	0.0	1.46	0.04
食 料	104.7	100.8	3.9	0.3	0.99	0.08
住 居	102.0	101.2	0.8	0.1	0.16	0.02
光 熱・水 道	106.5	102.8	3.6	0.6	0.24	0.04
家具・家事用品	91.3	93.2	-2.0	-4.0	-0.07	-0.13
被服及び履物	103.9	103.5	0.4	2.1	0.02	0.10
保 健 医 療	98.9	98.9	0.0	-0.3	0.00	-0.01
交 通・通 信	102.0	100.1	1.9	0.0	0.27	0.00
教 育	101.3	101.0	0.3	0.6	0.01	0.02
教 養 娯 楽	95.2	96.7	-1.6	-0.9	-0.16	-0.10
諸 雑 費	101.0	101.2	-0.2	0.4	-0.01	0.03

※寄与度について

寄与度とは、ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変動にどの程度の影響を与えたかを示したものであり、計算式は次のとおりである。

$$\text{寄与度} = \frac{(\text{当期の指数} - \text{前期の指数}) \times \frac{\text{当該項目のウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

### 費目別前年比



### 費目別寄与度

